

餃子作り～地域で生き活きと～

昨年に引き続き、仙台市太白地区にて交流会を開催。近隣にお住まいの帰国者と、町内会、民生委員や行政関係者約30名が、餃子作りや当センターの活動の様子をまとめたスライドショーの鑑賞を通し、相互理解と親睦を深めました。

朝早くからマイ麺棒片手に駆けつけてくださった帰国者の皆さん。中国では、「皮作りは男性が主役」と、女性ばかりでなく男性も大活躍です。「多くの方とお話ができ、一緒に餃子作りができて嬉しい」と笑顔で感想を聞かせてくださいました。

また、昨年の交流会を機に、帰国者とすっかり顔なじみとなっていた町内の方は、「路上で会うと、お元気であることにホッとします。日本語も日に日に上達されているようです」と話され、町内会役員の方からは、「次回の交流会では、ぜひ帰国者の皆さんに、何かお返しがしたいです」と温かいお声もいただきました。

【宮城県仙台市：平成26年11月30日】

包饺子～充满活力的在地域生活～

接续去年，在仙台市太白地区举办了交流会。居住在附近的归国者、町内会、民生委员以及行政有关人员约30人，大家一起包饺子并通过鉴赏汇总了本中心活动情形的幻灯片，加深了彼此之间的理解与和睦。

一早，归国者们自持擀面杖赶来参加。在中国“男士是擀皮的主角”，不仅是女士、男士们都大显身手。大家都笑颜开，还听到了「能够相互进行交流、在一起包饺子真是太开心了」的感想。

另外，以去年的交流会为契机，与归国者们之间已是相互熟知的町内的居民还说「在路上见面时，看到大家都健健康康的样子很放心。他们的日语水平也都日有进步」。町内会的干部还热情洋溢地表示「下次的交流会，也一定让我们表达一下对归国者们的谢意之情」。



【宮城県仙台市：平成26年11月30日】

第31号（平成27年3月15日）

香菜通信

発行

社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
東北中国帰国者支援・交流センター

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-7-4
電話：022-263-0948/022-223-1152
URL：http://www.miyagi-sfk.net/china

青森の伝統に触れました!

青森・秋田・岩手県（北ブロック）にお住いの帰国者の方々が、冬本番の青森県に集いました。皆さんは、旧友と会えるこの日を心待ちにされており、遠方の方は、片道5時間かけてご参加されました。

長旅の疲れや足腰の辛さも忘れ、とても生き活きとした表情で、ねぶた祭りや津軽三味線など、青森の伝統に親しんでいらっやいました。

【青森県 ねぶたの家ワ・ラッセ：平成26年12月2日】

接触了青森的传统文化!

居住在青森・秋田・岩手县（北部地区）的各位归国者们在正值严冬的青森县聚集一堂。与老友重逢之日大家已是翘首期盼已久。其中远道而来者，仅仅单程就花费了整整5个小时前来参加。

大家似乎忘记了长途旅行的疲劳和腰腿的酸疼，精神抖擞地参观了ねぶた节并欣赏了津轻三味线等，感受了青森的传统文。

【青森县ねぶたの家ワ・ラッセ：平成26年12月2日】



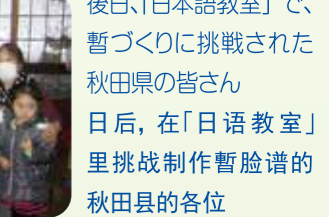
初めて見るねぶたは、圧倒的な大迫力/初次观看ねぶた，真是气势磅礴



太鼓・手振りかねの体験
亲自体验太鼓・小鼓



製作体験～ねぶた面/体験制作～ねぶた脸谱 暫～



楽しかった～★

後日、「日本語教室」で、暫つくり挑戦された秋田県の皆さん
日后，在「日语教室」里挑战制作脸谱的秋田县的各位

新年度のお知らせ

4～5月 行事予定

- 4月2日(木) 始業式
- 4月3日(金) 授業開始
- 5月(予定) 移動日本語交流会(福島県)
- 5月(予定) 移動日本語交流会(岩手県)

前期 通学課程受講申込受付中

申込締切日に関わりなく、人数に余裕のある場合は、随時申し込みを受け付けます。詳細はお気軽にお問い合わせください。皆さまのお申し込みをお待ちしています。(教務主任：咲間)

住所等変更お届け出のお願い

住所等ご連絡先が変更となった場合は、お手数ですが、直接当センターまでお知らせください。引き続き、広報紙等を送付させていただきます。

4～5月 活動予定

- 4月2日(星期四) 开学典礼
- 4月3日(星期五) 开课
- 5月(予定) 移动日语交流会(福島县)
- 5月(予定) 移动日语交流会(岩手县)

前期 走读课程正在招生

与报名截止日无关，在定员未满的情况时，随时受理报名。详细情况敬请咨询。我们期待着大家的报名。(教务主任：咲間)

请提出住所等变更的申报

麻烦您，如有地址等联络方式变更的情况时，请及时通知本中心。我们将继续为您寄送本信息刊物。

編集後記：2月27日の“交流の日”の一コマ。「日本に帰って来られて幸せです」と話される帰国者の方に、あるボランティアさんは、「帰ってきてくださって、ありがとうございます」とおっしゃいました。帰国者の方々とご自身のご両親が同世代ということもあり、センター開所当初から、帰国者の方に寄り添った支援を続けてくださっている方です。帰国者の皆さん、そしてセンターは、そんな心温かなボランティアさんたちに支えられていることに、改めて思いを致しました。(石黒)

编辑后记：2月27日“交流日”的一个片段。对表达了「能回到日本感到很幸福」的归国者，一位志愿者回应「欢迎回到故乡」。或许是她本人的父母与归国者们是同一世代的缘故，从中心成立以来，她就一直为归国者们提供着贴心贴意的支援活动。这也让我更加体会到，正是志愿者们如此暖人心怀的支援，中心、归国者们才能一路走到今天。(石黒)

(石黒)



津軽三味線竹山会の

皆さんの演奏

津軽三味線竹山会各位の演奏

